

第83期

期 末 報 告 書

(平成27年4月1日から)
(平成28年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成28年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第83期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ	

事業の概況

当事業年度のわが国経済は、景気の回復基調が続いているものの、海外の政治情勢の悪化、金融資本市場の変動などの不安要素もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社では、引き続きお客様の感動の創造に努め、来場者を増加すべく、サービスの一層の充実を推進してまいりました。

この結果、売上高は36億30百万円（前年同期比14%増）、営業利益は1億9百万円（前年同期比16%減）、経常利益は1億12百万円（前年同期比16.6%減）、当期純利益は69百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、平成27年の全国入場人員は前年比3.4%増の1億66百万人、興行収入は、4.9%増の2,171億19百万円となり、平成22年以来5年ぶりに2,100億円を超え、史上2番目の興行収入となりました。

夏興行では、洋画を中心に近年稀にみる大作のラインナップにより、業界全体を押し上げ、さらに、正月興行では公開前から社会現象となった「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」の公開など、好調に推移いたしました。

しかしながら、全国のスクリーン数は、73スクリーン増加するなど、シネマコンプレックスの飽和状態が続いており、1スクリーンあたりの興行収入は、依然として改善に至っておりません。

このような状況のなか当事業では、映画鑑賞の環境にこだわり、お客様のニーズに応えるべく、魅力的かつ効率的な番組編成を行ってまいりました。

なお、「ミッドランドスクエア シネマ」では、平成27年の年間興行収入は6年連続中部地区1位、動員および興行収入については年間の記録更新、8月には動員および興行収入の月間記録など、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」では、年間興行収入の記録更新、8月には動員および興行収入月間記録などを更新いたしました。

当事業年度は、洋画86作品、邦画92作品、アニメ45作品、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）が106作品の合わせて、329作品（前期末比7作品増）を上映いたしました。

主な上映作品としましては、洋画では、4月公開の「シンデレラ」、7月公開の「アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン」、8月公開の「ジュラシック・ワールド」、「ミッション・インポッシブル/ローグ・ネーション」、邦画では、5月公開の「映画 ビリギャル」、7月公開の「HERO」、1月公開の「信長協奏曲」、アニメでは、6月公開の「ラブライブ!」、7月公開の「バケモノの子」、「ミニオンズ」、ODSでは、シネマ歌舞伎「三人吉三」、「EXILE LIVE TOUR 2015 “AMAZING WORLD”」などの番組を編成いたしました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、映画黄金時代の特に優れた傑作娯楽映画を「第三回 新・午前十時の映画祭」として連続上映し、多くの映画ファンに足をお運びいただきました。

この結果、当事業では、売上高は25億24百万円、営業利益は1億12百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門では、「食文化創造室」を特別に設け、今後の事業展開を視野に置き、積極的に飲食ビジネスの情報収集をするとともに、快適空間の創造に努めてまいりました。名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、素材を生かした誰からも愛される定番メニューの開発や、季節ごとのイベントを展開し、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」、および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」は、近隣に対する営業を確実にいき、顧客の囲い込みを図ってまいりました。また、お客様に満足いただけるよう、積極的な店舗イベントの実施やサービスの提供で、売上向上に努めてまいりました。

しかしながら、当部門では、客単価の低下や近隣の大型施設進出の影響を大きく受け、依然として厳しい状況でありました。

この結果、当事業では、売上高は7億75百万円、営業損失は22百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、競争力を上げるための商材研究と開発を行うとともに、商品の品質向上に努めてまいりました。

得意分野の映画宣伝関連やコインパーキング等のサイン工事を中心とした積極的な営業展開により売上向上に努め、安定的な収益の維持を図ることが出来ました。

この結果、当事業では、売上高は3億30百万円、営業利益は19百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、経済政策や金融緩和政策の効果に支えられ、引き続き企業収益の改善が見込まれ、国内景気は緩やかな回復基調で推移するものと期待されるものの、新興国・資源国経済に対する先行き不透明感等から、景気の先行きは留意が必要と思われます。

当社におきましても、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、お客様に感動していただくため、引き続き『感動の創造』をキーワードとなる経営をします」という方針のもと、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、商品・環境を提供し、感動の創造に努めてまいります。

シネマ事業では、平成28年7月15日に名古屋駅前「シンフォニー豊田ビル」に「ミッドランドスクエア シネマ2（7スクリーン、1,042席）」がオープンいたします。既存の「ミッドランドスクエア シネマ」と合わせて名古屋市内最大の14スクリーン体制となり、シート・音響・映像等のすべてがプレミアムな映画館を提供してまいります。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートシネマ・スクエア」、様々なアニメ作品をお届けする「アニメーション・スクエア」という2つのレーベルを立ち上げ、他に、「シネマ歌舞伎」やライブビューイング等、様々なジャンルのエンターテインメント作品も提供し、あらゆる映画ファンの期待に応える多彩な作品をお届けしてまいります。また、コンセプション（売店）の商品開発にも一層注力し、売上向上に努めてまいります。

今後の主な上映作品としましては、洋画では、7月公開の「アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅」、8月公開の「ゴーストバスターズ」、12月公開の「ローグ・ワン／スター・ウォーズ ストーリー」、邦画では、7月公開の「HIGH & LOW THE MOVIE」、11月公開の「SCOOP!」、12月公開の「海賊と呼ばれた男」、アニメでは、7月公開の「ファインディング・ドリー」、「ONE PIECE FILM GOLD」、10月公開の「アングリィ・バード」、12月公開の「妖怪ウォッチ3」、ODSでは、6月公開のシネマ歌舞伎「歌舞伎NEXT 阿豆流為」や「METライブビューイング」、さらに、「午前十時の映画祭7」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

リラクゼーション事業では、競合店舗が多い中、近隣の顧客開発も強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

さらに、9月には「シンフォニー豊田ビル」1階に「LA BOBINE（ラ・ボビン）」ガレット・カフェがオープンいたします。食と空間を楽しむためのカジュアルでありながら、上質な店舗を目指してまいります。

アド事業では、さらに商材研究と開発を行うことにより、競争力を上げ、積極的な営業展開で商圈の拡大を図ってまいります。得意分野の映画宣伝や関連サイン工事をさらに伸ばし、質の向上とともに、売上の上積みを目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしまっている所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,174,537	流 動 負 債	592,781
現金及び預金	525,587	買掛金	243,932
売掛金	135,799	1年内返済予定の長期借入金	87,896
有価証券	400,002	リース債務	53,786
商品	5,423	未払法人税等	39,340
前払費用	28,308	未払消費税等	23,163
預け金	61,711	未払費用	56,428
繰延税金資産	9,814	賞与引当金	14,450
その他	8,860	その他	73,782
貸倒引当金	△969		
固 定 資 産	3,626,526	固 定 負 債	474,474
有 形 固 定 資 産	(2,642,042)	リース債務	79,705
建物	1,721,911	退職給付引当金	62,003
構築物	51,122	長期未払金	39,500
機械装置	142,277	資産除去債務	55,037
車両運搬具	432	受入保証金	199,476
器具備品	51,484	繰延税金負債	38,752
土地	669,168	負 債 合 計	1,067,256
建設仮勘定	5,644	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	(66,069)	株 主 資 本	3,601,729
電話加入権	1,147	資本金	(270,000)
ソフトウェア	64,921	資本剰余金	(13)
投資その他の資産	(918,414)	資本準備金	13
投資有価証券	276,740	利 益 剰 余 金	(3,399,263)
差入保証金	638,951	利益準備金	67,500
長期前払費用	2,722	その他利益剰余金	3,331,763
		配当準備積立金	345,979
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	605,784
		自 己 株 式	(△67,547)
		評価・換算差額等	132,078
		その他有価証券評価差額金	(132,078)
資 産 合 計	4,801,063	純 資 産 合 計	3,733,807
		負 債 純 資 産 合 計	4,801,063

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,630,951
売 上 原 価		1,801,995
売 上 総 利 益		1,828,956
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,719,385
営 業 利 益		109,571
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,080	
協 賛 金 収 入	1,800	
雑 収 入	2,649	9,529
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	2,835	
雑 損 失	4,245	7,080
経 常 利 益		112,020
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損		161
税 引 前 当 期 純 利 益		111,859
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	42,468	
法 人 税 等 調 整 額	△591	41,877
当 期 純 利 益		69,981

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成28年3月31日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 51名

■ 主要な事業所 (平成28年3月31日現在)

・シネマ事業

<劇 場>

ミッドランドスクエア シネマ (7) 名古屋市中村区
ピカデリー (2) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営する劇場です。
3. 「ピカデリー」は、平成28年6月30日をもって、閉館いたします。

・リラクゼーション事業

<飲 食 店>

覚王山カフェ Ji. Coo. 名古屋市中村区

<浴場施設>

太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区
松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市

・アド事業

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区

■ 役員 (平成28年6月24日現在)

代表取締役社長	服部 徹	
常務取締役	原田 克己	感動創造本部本部長
取締役	三田 則男	感動創造支援本部本部長、 経営企画部上席部長、経理部上席部長
取締役	山口 千秋	(社外取締役)
取締役	大谷 信義	(社外取締役)
常勤監査役	佐藤 桂一	
監査役	新井 紀夫	(社外監査役)
監査役	岡本 安史	(社外監査役)
執行役員	貴田 吉晴	感動創造支援本部副本部長、 経営企画部部長、総務部部長
執行役員	小塚 康	感動創造本部副本部長、興行部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況（平成28年3月31日現在）

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	531,057株（自己株式8,943株を除く）
株主数	2,814名（前期末比5名減）

■ 大株主（平成28年3月31日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
トヨタ自動車株式会社	30,000株	5.64%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	7,000株	1.31%
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
服 部 清 純	4,500株	0.84%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.80%
服 部 純 子	4,000株	0.75%

（注）持株比率は自己株式(8,943株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況（平成28年3月31日現在）

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,400株	1.00%
金 融 商 品 取 引 業 者	84株	0.02%
そ の 他 の 法 人	101,800株	18.85%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,773株	78.47%
自 己 名 義 株 式	8,943株	1.66%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様には8, 9, 10月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および11, 12, 翌年1月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様には2, 3, 4月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および5, 6, 7月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

映画館	住所・電話番号
ミッドランドスクエア シネマ（1～7番スクリーン）	名古屋市市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F (052) 527-8808
ミッドランドスクエア シネマ（8～14番スクリーン）	名古屋市市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F (052) 527-8808
ピカデリー	名古屋市市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F (052) 551-5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内 (0568) 39-3911

※「ミッドランドスクエアシネマ（8～14番スクリーン）」は、平成28年7月15日にオープンいたします。

※「ピカデリー」は、平成28年6月30日をもって、閉館いたします。

※プレミアムシートのご利用、3D映画のご鑑賞等の場合には、ご利用にあたり別途料金のご負担が必要となります。詳細は、各劇場にお問い合わせください。

- 「株主ご優待券」を下記スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市市中川区平戸町2-1-10 (052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15 (0587) 53-4126

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>